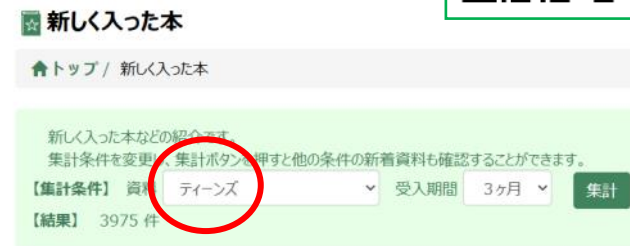


新着図書

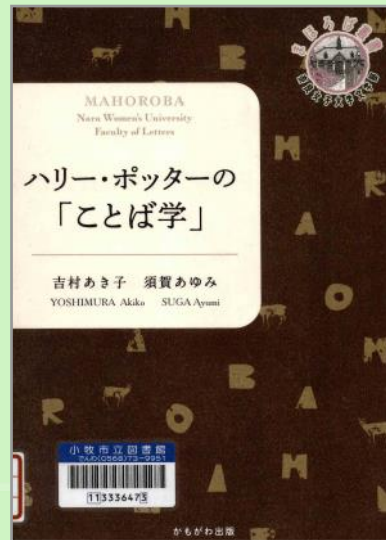
図書館HPから
すべての新刊を
チェックできます



- ① 図書館HPを開く
- ② をクリック
- ③ 条件を「ティーンズ」に絞る



新刊ピックアップ!



ハリー・ポッターの「ことば学」

吉村あき子／著 須賀あゆみ／著
かもがわ出版 2025.3 (930.28/口)

ハリー・ポッターの物語にちりばめられた巧みな言葉づかいや会話のやりとりを、言語学の視点から読み解く一冊です。呪文の描写や比喩などに注目し、言葉の構造の意図や、言葉に仕掛けられたトリックを解説します。ハリー・ポッターの物語をもっと深く楽しみたい方にもオススメです。



歩くサナギ、うんちの繭

昆虫たちのフシギすぎる「変態」の世界

篠原かをり／著 大和書房 2025.3 (486.1/シ)

タイトルからすでにインパクトのある本作には、ミルクを出すアリのサナギや、光るサナギなど、学校では教えてくれない昆虫たちの驚きの生態が盛りだくさん。一度知れば忘れられないこと必須です。昆虫の変態(へんたい)のディープな世界に、あなたも夢中になってみませんか。



次号
(2025年秋号)
9月1日
発行予定です



「ティーンズ・ライブラ」が、皆さんの読書のきっかけとなれば幸いです。(N)

汗ばむ季節となりましたね。新生活の疲れも出てくる頃です。無理せずゆっくり過ごしましょう。読書は、ストレスを発散する効果があります。身体も心も疲れがたまりやすい今の季節は、少しの間で良いので、のんびり本を眺めてみませんか？ スマホは少し遠くに置いて。窓を少し開け、気持ちの良いそよ風を感じながら、異国の文化に思いを馳せてみてください。文字を追うのも億劫なときは、写真を眺めるだけでも、いい気分転換になりますよ。

本好きさんになろう！

連載コラム

TEENS Libra

ティーンズ ライブラ 2025年夏号 (No.42)

本をコンパスに

知らない国を探しに行こう



世にもマニアな世界旅行

山口由美／著 新潮社 2004.7 (290.9/ヤ)

この本は約20年前の本です。著者の山口さんは「旅は非日常」という強い思いがあり、世界にあるただならぬ場所を求め、旅をしています。それらは現在でも決して行きやすい場所でもないのですが、自分でもいろいろ世界にある場所を調べて、その土地ってどんなふうになっているだろうと想像するだけでも楽しいと思います。できれば普通の旅行と違うそういう旅もしてみたいですね。

なくなりそうな世界のことは

吉岡乾／著 西淑／イラスト 創元社 2017.8 (802/ヨ)

単一言語の国に住んでいる日本人にとって、海外旅行への大きな壁となるのが言葉です。自分の語学力で通じるのか、現地語で書かれた案内や地図を読めるのかなどの心配が頭をよぎります。それならいっそ、現地語が少ない国を訪ねてみるのはいかがでしょう？

世界には、数百から数十、中には5人しか読み書きできる人が残っていない消滅危機言語があります。(実は、日本にもあります)

意味が解らなくても、希少な言葉たちから伝わるものが壁を超える力になってくれると思います。

ニワシドリのひみつをもとめて ものづくりする鳥のふしぎをさぐる旅

鈴木まもる／著 理論社 2023.7 (488)

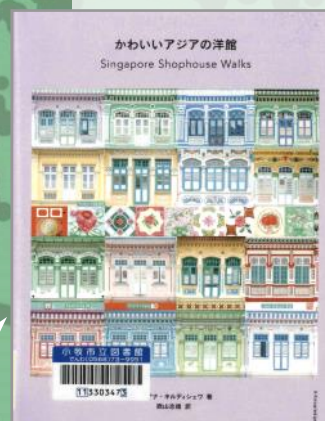
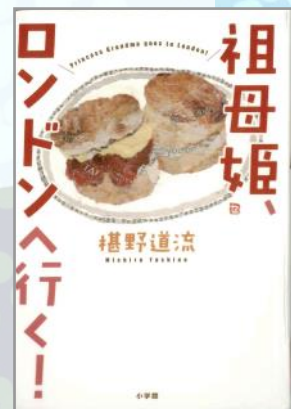
子どもの頃、作者は図書館で1冊の本と出会います。その本には「ニワシドリ」という鳥が巣づくりの際、枝で壁をつくり、壁の前に青いものを並べる、と記してありました。巣は「アズマヤ」と呼ばれ、ニワシドリの種類によって形も様々だと知った作者は、ニワシドリを追って外国のいろいろな場所を旅します。なぜ、ニワシドリは不思議な形の巣を作るのでしょうか。この本とともに謎を追いかけてみませんか？

かわいいアジアの洋館

タチアナ・キルディシェワ／著 西山志緒／訳
エクスナレッジ 2024.1 (523.23/キ)

撮影の舞台は東南アジア、シンガポール。目を奪われるようなカラフルな洋館は「プラナカン」と呼ばれる、かつて中国大陸から移住してきた人たちが様々な文化を融合して生み出した独自の文化様式です。

よく見ると、中国で縁起物とされる鳳凰や牡丹の花が、壁のタイルのモチーフになっていることも。細かいディテールにもぜひ注目してみてください。



世界の台所探検 料理から暮らしと社会がみえる

岡根谷実里／著 青幻舎 2020.12 (596.04/オ)

「台所探検家」を自認する著者が、世界各地の家庭を訪問し、現地の家庭料理と一緒に料理させてもらいます。現地の風景や料理等の豊富な写真とともに、アジア・アフリカ・中東等各地の人々の暮らしぶりが紹介され、食を通じて世界の国々を身近に感じられる1冊。現地家庭直伝のレシピを試して旅行気分を味わう楽しみ方も。

祖母姫、ロンドンへ行く！

榎野道流／著 小学館 2023.4 (915.6/フミ)

旅の同行者はお姫様！？
おばあちゃんと、孫である筆者のロンドン紀行をまとめた1冊。
旅の中の素敵な出会いと、ロンドンでの魔法のような出来事…ばかりでもなく大変なことも盛りだくさん！！読むとじわじわ胸があたたかくなり、大切な人と一緒に旅をしたくなること間違いなしです。

世界の国境を歩いてみたら…

行かなきゃわからない国境のサプライズ！

「世界の国境を歩いてみたら…」番組取材班／著
河出書房新社 2018.12 (290.9/ニ)

日本人にはあまり馴染みのない国境。それを超えるのは大変な手続きが必要…と思っていませんか？ もちろん超えるのが難しい国境もありますが、そうでない国境も。そこに住む人々の文化や生活、隣国との関係性が各国それぞれ個性的なのが見所です。次々と国境をめぐることができるのは本ならではのですね！

祈りの絶景100 自分を見つめ心を整える

イースト・プレス編集部／編
イースト・プレス 2023.8 (290.87/イ)

世界中の美しい風景に込められた人々の祈りを、圧巻の写真とともに紹介する一冊です。自然や建築、儀式など多様な「祈りの場」を巡りながら、風景に宿る思いを感じ取ることができます。心に響く、癒しと気づきの旅へあなたをいざないます。

ラップランドの四季 The Four Seasons of Lapland

Lapin neljä vuodenaikaa

三木卓／詩 かまくら春秋社 2015.11 (748/ミ)

フィンランド北部、スカンジナビア半島の付け根に位置するラップランドは、ほぼ全域が北極圏に含まれています。太陽の沈まない時期があるほか、一部では気温が-40度になることも。日本から遠く離れた土地の春夏秋冬を、多くの美しい写真とともに、文化を描いた詩が情景を届けてくれます。日常と異なる文化圏の季節にぜひ思いを馳せてください。

知らない国を探しに行こう



本の予約ができる
おすすめブックリスト

紹介作品(50音順)

- 歩くサナギ、うちの繭
- 祈りの絶景100
- かわいいアジアの洋館
- 世界の国境を歩いてみたら…
- 世界の台所探検
- 祖母姫、ロンドンへ行く！
- なくなりそうな世界のことは
- ニワシドリのひみつをもとめて
- ハリー・ポッターの「ことば学」
- 世にもマニアな世界旅行
- ラップランドの四季

2025
夏